

刑 法 犯 の 概 況

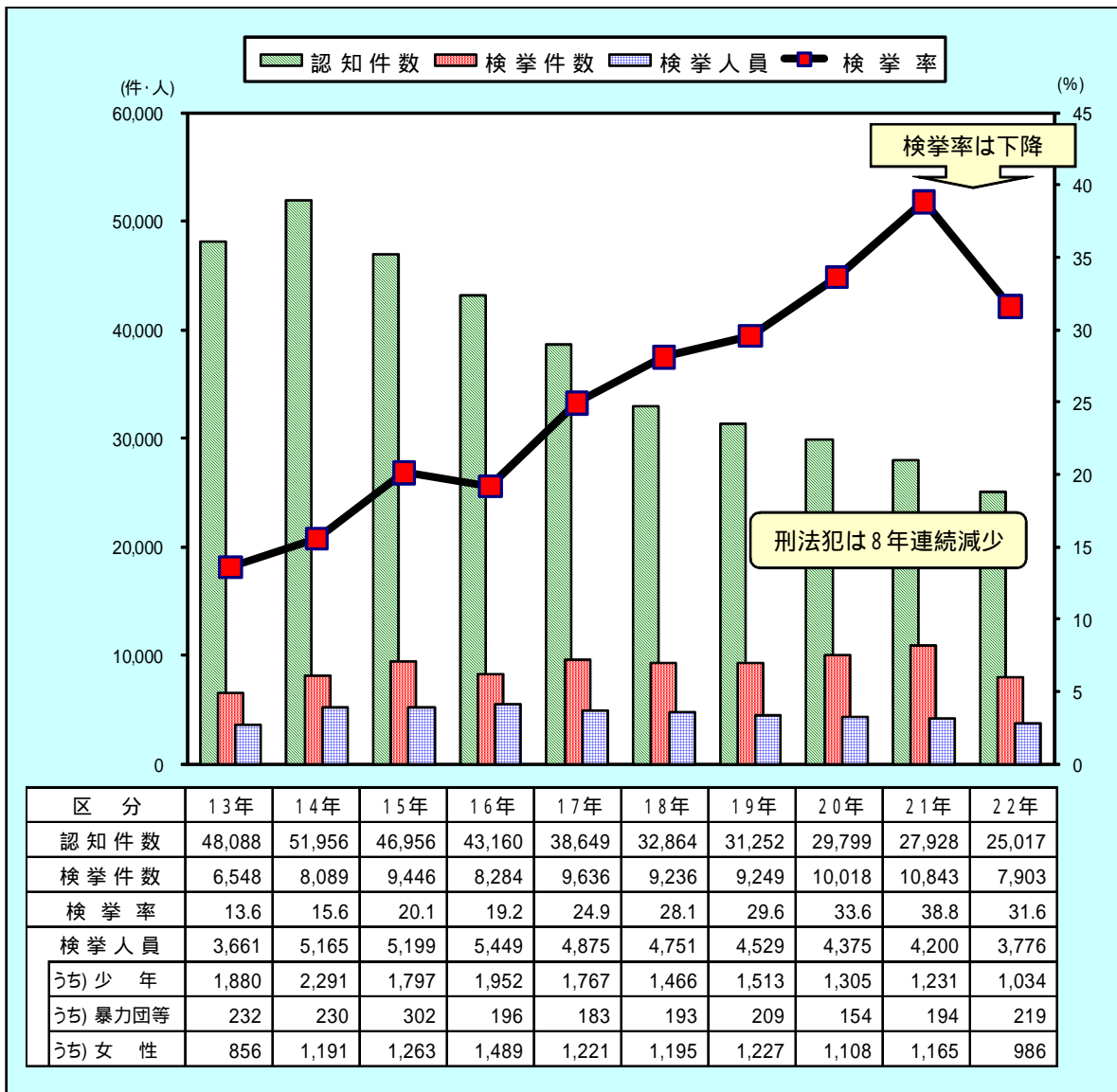
1 刑法犯

刑法犯は8年連続減少

平成22年中の刑法犯は、認知件数が25,017件、検挙件数が7,903件、検挙人員が3,776人となっています。前年と比較すると、認知件数は2,911件(-10.4%)、検挙件数は2,940件(-27.1%)、検挙人員は424人(-10.1%)それぞれ減少しています。

刑法犯の認知件数は平成14年に戦後最多となる51,956件を記録しましたが、その後は8年連続で減少しています。

図 - 1 刑法犯 認知・検挙状況 年次推移

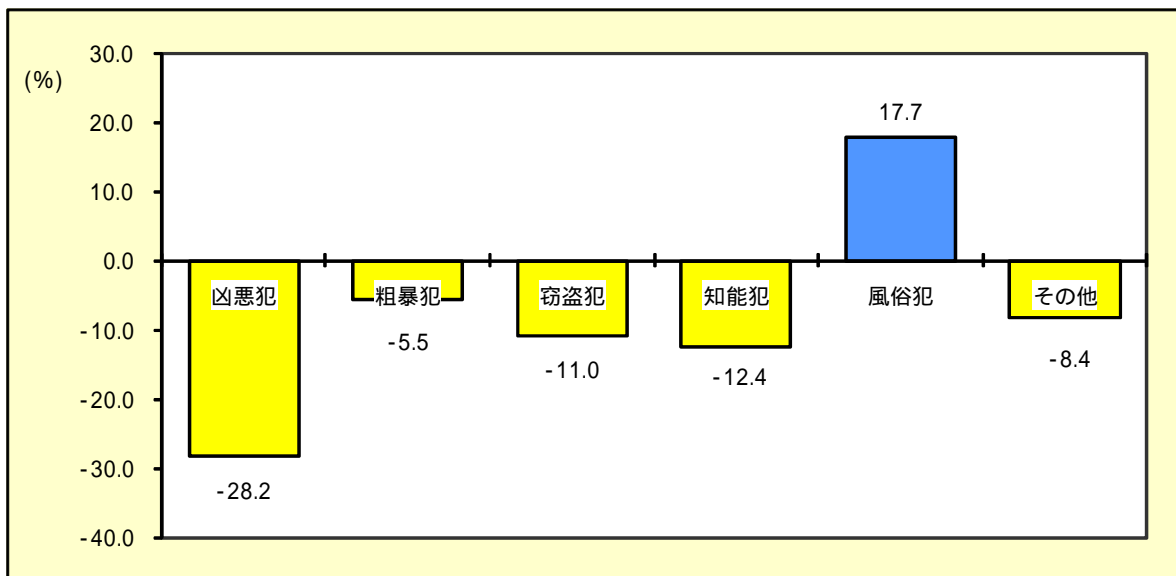


刑法犯の包括罪種別認知件数は、凶悪犯が94件、粗暴犯が531件、窃盗犯が18,975件、知能犯が706件、風俗犯が153件などとなっています。前年と比較すると、風俗犯以外はそれぞれ減少しています。

表 - 1 刑法犯 包括罪種別 認知状況

包括罪種 区分	総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他の 刑法犯
平成22年	25,017	94	531	18,975	706	153	4,558
構成比	100.0	0.4	2.1	75.8	2.8	0.6	18.2
平成21年	27,928	131	562	21,323	806	130	4,976
構成比	100.0	0.5	2.0	76.3	2.9	0.5	17.8
増減 件数	-2,911	-37	-31	-2,348	-100	23	-418
%	-10.4	-28.2	-5.5	-11.0	-12.4	17.7	-8.4

図 - 2 刑法犯 包括罪種別 認知件数 前年対比



包括罪種とは、刑法犯のうち被害法益、犯罪態様等の観点から類似性の強い罪種を包括して6種に分類したものをいいます。

- 凶 悪 犯 ... 殺人、強盗、放火、強姦
- 粗 暴 犯 ... 凶器準備集合、暴行、傷害、脅迫、恐喝
- 窃 盗 犯 ... 窃盗
- 知 能 犯 ... 詐欺、横領、偽造、汚職、あっせん利得、背任
- 風 俗 犯 ... 賭博、強制わいせつ、公然わいせつ、わいせつ物
- その他の刑法犯 ... 占有離脱物横領、公務執行妨害、住居侵入、逮捕監禁、略取・誘拐等、器物損壊等上記に掲げるもの以外の罪名

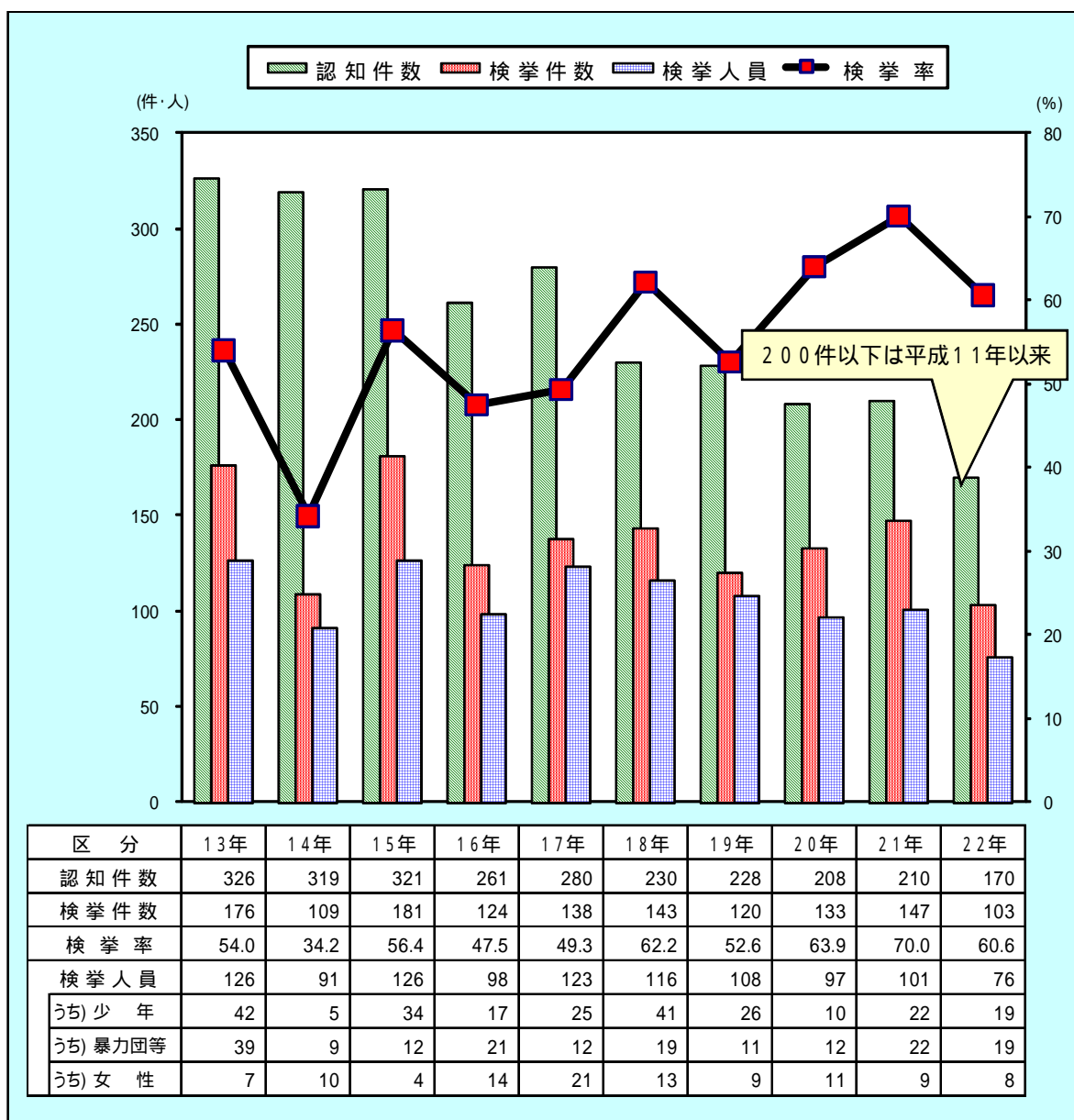
2 重要犯罪（殺人、強盗、放火、強姦、略取・誘拐等、強制わいせつ）

重要犯罪は11年ぶりに200件以下

平成22年中の重要犯罪は、認知件数が170件、検挙件数が103件、検挙人員が76人となっています。前年と比較すると、認知件数は40件（-19.0%）、検挙件数は44件（-29.9%）、検挙人員は25人（-24.8%）それぞれ減少しています。

重要犯罪の認知件数は平成13年から3年連続で300件を上回りましたが、その後は減少傾向で、平成22年は11年ぶりに200件以下となっています。

図-3 重要犯罪 認知・検挙状況 年次推移

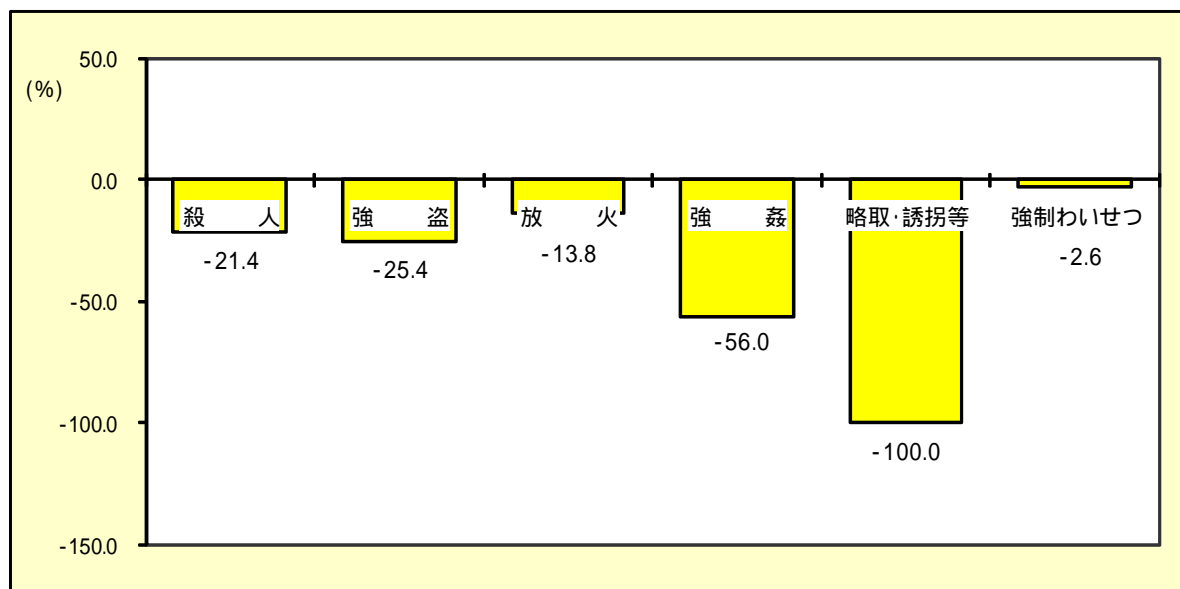


重要犯罪の罪種別認知件数は、殺人が11件、強盗が47件、放火が25件、強姦が11件、強制わいせつが76件となっています。前年と比較すると、殺人、強盗、強姦など全罪種で減少しています。

表 - 2 重要犯罪 罪種別 認知状況

罪種		総数	殺人	強盗	放火	強姦	略取・誘拐等	強制わいせつ
区分								
	平成22年	170	11	47	25	11		76
	平成21年	210	14	63	29	25	1	78
増減	件数	-40	-3	-16	-4	-14	-1	-2
	%	-19.0	-21.4	-25.4	-13.8	-56.0	-100.0	-2.6

図 - 4 重要犯罪 罪種別 認知件数 前年対比



重要犯罪とは、刑法犯のうち殺人、強盗、放火、強姦、略取・誘拐等、強制わいせつの各罪種をいいます。

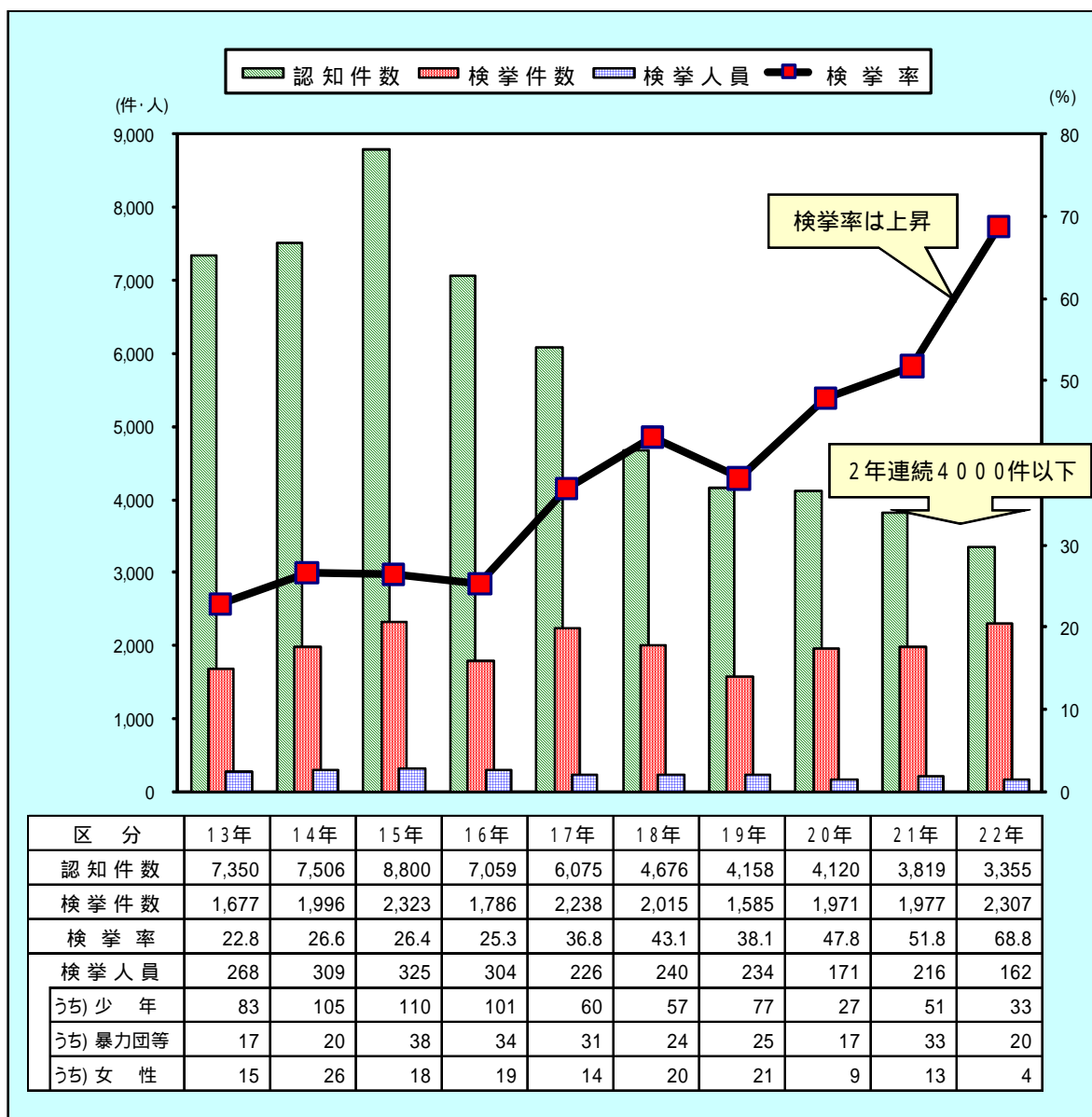
3 重要窃盗犯（侵入盗、自動車盗、ひったくり、すり）

重要窃盗犯は昭和50年以降で最少

平成22年中の重要窃盗犯は、認知件数が3,355件、検挙件数が2,307件、検挙人員が162人となっています。前年と比較すると、検挙件数は330件(16.7%)増加しましたが、認知件数は464件(-12.1%)、検挙人員は54人(-25.0%)それぞれ減少しています。

重要窃盗犯の認知件数は平成15年に8,000件を突破しましたが、その後は7年連続で減少しています。平成22年の数値は統計が残る昭和50年以降で最も少ない認知件数となっています。

図-5 重要窃盗犯 認知・検挙状況 年次推移

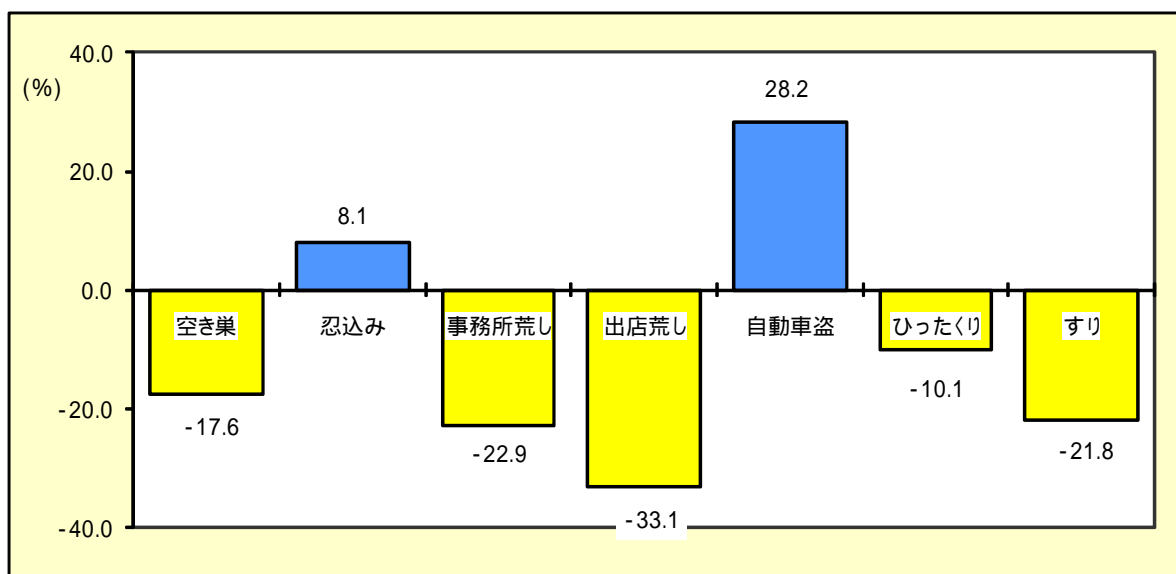


重要窃盗犯の手口別認知件数は、侵入盗が2,718件、自動車盗が532件、ひったくりが62件、すりが43件となっています。前年と比較すると、自動車盗は増加しましたが、侵入盗は空き巣、出店荒し、事務所荒しなどの減少が目立ちました。

表 - 3 重要窃盗犯 手口別 認知状況

区分	手口	総数	侵入盗			自動車盗	ひったくり	すり	
			うち) 空き巣	うち) 忍込み	うち) 居空き				
平成22年		3,355	2,718	885	399	50	532	62	43
平成21年		3,819	3,280	1,074	369	93	415	69	55
増減	件数	-464	-562	-189	30	-43	117	-7	-12
	%	-12.1	-17.1	-17.6	8.1	-46.2	28.2	-10.1	-21.8

図 - 6 重要窃盗犯 主要手口別 認知件数 前年対比



重要窃盗犯とは、窃盗犯のうち侵入盗、自動車盗、ひったくり、すりの各手口をいいます。